

第2学年国語科学習指導案

単元名 構成と論理の展開に注意して読もう

教材名 「モアイは語る～地球の未来～」(光村図書 中学校2年)

1 単元について

本学級の生徒は1年時に「未来をひらく微生物」で身近な環境問題について学んでいる。この単元では言葉の意味を正確にとらえることと段落の役割に着目して、文章の構成を読み取ることを学習している。また、書く活動としては、調べたことを正確に伝えるためにレポートを書くという学習を既に行っている。前単元の「文化を伝えるチンパンジー」では、事実と考察を読み分け、論理の展開の仕方を読み取ることを学習した。平成21年度の佐賀県小・中学校学習状況調査においては、「目的に応じて論の展開を押さえ、正確に理解すること」に課題が見られる。これらのことを踏まえて、本単元では教材「モアイは語る～地球の未来～」を読み、各段落が文章全体の中で果たす役割を、スモールステップによってとらえていく学習活動を行う。この学習活動の中で、目的に応じて要約したり要旨をまとめたりすることで、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見の読み分けができる力を身に付けさせたい。

本単元は、要旨をまとめる、要約するという言語活動を位置付け、文章の構成や論理の展開、筆者の意見を読み取る単元である。本教材は、根拠となる事実を見いだした手順、その事実が物語っていたもの、現在に投げ掛けている問題などを分かりやすい文章構成で述べている。文章構成と論理の展開を理解した上で、根拠となる事実を整理し、筆者の意見を要約することにより、それを文章としてどのように構成していったかを理解する教材としたい。また、この文章構成を参考にしながら自分の意見文を書くという活動を通して、もう一度、文章の構成や論理の展開について確認できるような単元としたい。

本単元においては、「説明文や論評などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えをもつために要旨をまとめること」(C読むこと(2)イ)を言語活動として設定する。これらの活動を位置付けることで、筆者のもの見方や考え方がどのように表されているか、どのように文章が構成されているかといったことについても理解する必要が出てくる。また、新学習指導要領「C読むこと」の「文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること(C読むことイ)」「文章の構成や展開、表現の仕方について根拠を明確にして自分の考えをまとめること(C読むことウ)」そして、「B書くこと」の「自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして文章の構成を工夫すること(B書くことイ)」にも関連した指導内容である。

2 単元の指導目標

- (1) 文章の構成や論理の展開をとらえ、書かれている事実と筆者の意見を的確に読み取らせる。
- (2) 自分が伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫させる。

3 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	1 問題意識をもって課題に取り組み、筆者の意見を読み取ったり、文章の構成を工夫して分かりやすい文章を書いたりしようとしている。 【C読むこと(1)イ】
イ 書く能力	1 伝えたい事実や事柄を明確にして、文章構成を工夫した文章を書いている。

	<p style="text-align: right;">【B 書くこと(1)イ】</p> <p>2 書いた文章を互いに読み合い，文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり，助言をしたりして自分の考えを広げている。</p> <p style="text-align: right;">【B 読むこと(1)オ】</p>
ウ 読む能力	<p>1 文章全体と部分との関係，例示や描写の効果について理解しながら読んでいる。 【C 読むこと(1)イ】</p> <p>2 文章の構成や論理の展開について理解し，筆者の意図を読み取っている。 【C 読むこと(1)ウ】</p> <p>3 説明や論評などの文章を読み，内容や表現の仕方に沿ってまとめている。 【C 読むこと(2)イ】</p>
エ 言語についての知識・理解・技能	<p>1 目的に応じて文章の構成や論理の展開に違いがあることを理解している。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 オ】</p>

4 指導と評価の計画（全7時間）

次	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価の方法
一	1	<p>1 単元の学習目標を知り，この後の学習の見通しをもつ。</p> <p>2 「モアイは語る」を読む。</p> <p>3 文章の構成と論理の展開をとらえる。</p>	<p>学習の流れを示した学習計画表を用いて，単元の学習目標を確認し，単元の学習の見通しをもたせる。</p> <p>「モアイは語る」という題名に比喻（ひゆ）表現が使われていることを押さえ，「モアイが私たちに何を語っているのか」という問い掛けをして，読みへの意欲をもたせるようにする。</p> <p>文章が序論・本論・結論から構成されていることを確認し，3つの意味段落に分けるように指示する。</p>	<p>アー1【課題設定時の生徒の様子観察】</p> <p>ウー2【ワークシートの記述内容】</p>
二	2	<p>4 第一段落と第二段落の内容をとらえる。</p> <p>5 モアイについての事実が書かれている部分を抜き出して整理する。</p> <p>6 モアイについて抜き出した事実をモアイが語っているように書く。</p>	<p>内容をとらえる際に，本文を「問題提起」「根拠（事実）」「問題提起に対する答え」の部分に分けて，考えさせる。</p> <p>ワークシートを用いて，条件に応じて必要な情報だけを抜き出してまとめさせる。</p> <p>モアイが実際に語っているような口調で書くように指示する。</p>	<p>ウー1【ワークシートの記述内容】</p>

3	7	第三段落を読み，筆者の意見を理解する。	本文中で，筆者の意見の中心となっていると思われる部分に線を引くように指示する。	ウー 1【ワークシートの記述内容】
	8	筆者の意見を要約する。	下線を引いた部分を基にして，筆者の意見を要約させる。	ウー 3【ワークシートの記述内容】
	9	全体の要旨をまとめる。	要約をする前に，要約の仕方の手順を，学習の手引きを使って確認する。モアイが語った事実と筆者の意見を要約したものを合わせて全体の要旨とすることに気付かせる。	
4	10	筆者の意見や表現の仕方について考える。	前時に学習した「文章の構成や論理の展開の大切さ」を確認するために意見文を書くことを知らせる。	エ - 1【生徒の様子観察】
	11	意見文を書くために情報を収集する。	「地球の未来」というテーマに沿って，自分で決めた題で意見文を書かせるために，インターネットや図書室の資料から必要な情報を収集する時間を設ける。	
5	12	意見文を書くために集めた情報を整理する。	集めた情報の中から，必要な情報だけを抜き出すよう指示する。	イ - 1【生徒の様子観察，意見文の下書き】
	13	意見文の構成を考え，下書きをする。	「モアイは語る」の構成について読み取ったことを想起させ，活用を促す。	
6	14	下書きを推敲(すいこう)し，清書をする。	友達同士で相互評価する際に，誤字脱字はないか，文章構成は正しいか，相手を納得させる意見文になっているかなどのポイントについて，あらかじめ確認する。	イー 1【ワークシートの記述内容】
三	7	15	意見交流会をし，自分の意見に生かす。	イ - 2【意見文の加筆修正】
	16	学習全体を振り返る。	友達の意見文を読んで，よかったところやアドバイスを発言しやすいような雰囲気を作るように配慮する。学習計画表などを基に「モアイは語る」の学習を振り返らせて，身に付いた力や気付きなどを学習計画表や事後のアンケートに記入させる。	
				ア - 1【学習計画表の記述，事後アンケートの記述内容】

5 - 1 1 / 7時の指導計画

(1) 指導目標

- ・単元の学習の見通しをもたせる。
- ・文章の構成や論理の展開をとらえさせる。

(2) 展開

過程	学習活動	教材資料	指導上の留意点	評価規準と【評価方法】 この状況の生徒への手立て
導入	1 単元の学習目標を知り，学習の見通しをもつ。	学習計画表	本単元の目標は，目的意識をもって読んだり書いたりすることができるようになるということ伝える。 学習計画表を用いて，本単元の学習活動の流れについて見通しをもたせる。	ア - 1 本単元の学習内容を知り，意欲的に取り組もうとしている。 【生徒の観察，学習計画表の記述内容】
文章の構成や論理の展開をとらえよう				
展開	2 「モアイは語る」を読む。 (1) 各自で黙読する。 (2) 指名された生徒が順に通読する。 3 文章の構成をとらえる。	ワークシート	読む前に，題名に着目させ，「モアイが私たちに何を語るのか」ということを読みの一つの視点として押さえる。 比喩表現が入っていることに気付かせる。 始めに，各自黙読をさせる。 黙読する際に，新出漢字や読めない漢字，注意する語句については線を引いて一斉読みの際に確認できるようにしておくように指示する。 形式段落に番号を付けるように指示する。 1年次に学習した「序論，本論，結論」という文章構成を押さえた上で，全体を大きく3つのまとまりに分けるように指示を出	ウ - 2 文章の構成について理解している。【ワークシートの記述内容】

	4 論理の展開をとらえる。	ワークシート	す。 提示，事実，意見という論理の展開を押さえておく。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>序論・本論・結論とはどういうものをいうのか説明する。</p> </div> <p>ウ - 2 提示 事実，意見という論理の展開を押さえている。 【ワークシート の記述内容】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>文末表現と内容から判断して，読み取るよう助言する。</p> </div>
まとめ	5 本時の振り返りをし，次時の見通しをもつ。 6 本時の自己評価をする。	学習計画表	次時は，第一段落と第二段落の内容をとらえ，モアイについての事実をまとめることを告げる。	

5 - 2 2 / 7時の指導計画

(1) 指導目標

- ・目的に応じて必要な情報を抜き出させる。
- ・モアイが語っている根拠(事実)を読み取らせる。

(2) 展開

過程	学習活動	教材資料	指導上の留意点	評価規準と【評価方法】 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 本時の目標を確認する。	学習計画表	学習計画表を見て、授業の流れと本時の目標を確認させる。	
展開	2 第一段落, 第二段落を読み, 問題提起, 根拠(事実), 答えが書かれているところに, それぞれマーカーで線を引く。	ワークシート	問題提起, 根拠(事実), 答えの意味を押さえる。 3色のマーカーを用意させ, 問題提起, 根拠(事実), 答えの部分にそれぞれ色を決めて線を引くよう指示する。 問題提起とその答えの部分を押さえる。	ウ - 1 文末表現などに注目して問題提起, 根拠(事実), 答えの部分に線を引いている。 【ワークシートの記述内容】 問題提起と答えの部分にまず着目させ, そこから根拠を見付けるように助言する。
展開	3 モアイについての事実が書かれている部分を抜き出す。	ワークシート	モアイについての事実をワークシートの項目に沿って整理するよう助言する。 抜き出した部分を友達と見せ合うことで, 自分の書いている内容を確認するよう指示する。	
	4 モアイが語っているように書く。	ワークシート	モアイについての事実を整理したワークシートを基に, モアイが実際に語っているような口調	ウ - 1 モアイが語っているような文体に書き換えている。

			で書くことを初めに確認する。	【ワークシート の 記述内容】 小学生に対して話 すような口調で書 くよう助言する。
ま と め	5 本時の振り返りをし、次 時の見通しをもつ。 6 本時の自己評価をする。	学習計画表	次時は、第三段落を読み、筆者 の意見を要約することを告げ る。	

5 - 3 3 / 7時の指導計画

(1) 指導目標

- ・筆者の意見を理解させた上で，目的や条件に応じて要約させる。

(2) 展開

過程	学習活動	教材資料	指導上の留意点	評価規準と【評価方法】 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 本時の目標を確認する	学習計画表	学習計画表を見て，授業の流れと本時の目標を確認させる。 筆者の意見を理解し，要約しよう	
展開	2 第三段落を読み，筆者の意見を理解する。 3 筆者の意見を要約する。	ワークシート 学習プリント 学習の手引き3 (要点まとめ) ワークシート	筆者の意見の中心になっているところにマーカーで線を引く時，前時に使った3色以外で引くよう指示する。 要約が苦手な生徒もいるので，学習プリント(段落の要点)を活用してポイントを押さえる。学習プリントについている学習の手引きを使って要約の仕方の手順を示す。	ウ - 1 第三段落を読んでマーキングしている。 【ワークシートの記述内容】 ウ - 3 要約の仕方の手引きを理解し，要約している。 【ワークシートの記述内容】 それぞれの形式段落から一文ずつ，大事な文を選び，それをつなげることで要約に近付けることができることに気付かせる。
まとめ	5 本時の振り返りをし，次時の見通しをもつ。	学習計画表	自分の意見を意見文としてまとめるための情報を集めることを告げる。	

5 - 4 4 / 7時の指導計画

(1) 指導目標

- ・「地球の未来」というテーマに沿って，環境問題の中から自分の題を決めさせる。
- ・自分が書く意見文の内容に沿って，情報を集めさせる。

(2) 展開

過程	学習内容と学習活動	教材資料	指導上の留意点	評価規準と【評価方法】 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 本時の目標を確認する。	学習計画表	学習計画表を見て，授業の流れを確認させる。 自分の意見文の題を決め，情報を集めよう	
展開	2 自分の意見文の題を決める。 3 意見文を書くために，その根拠となる情報を収集する。	ワークシート	「文章の構成や論理の展開の大切さ」を確認するために意見文を書くということを知らせる。学習を通して環境問題に興味をもち，自分の意見をもつことができるようにする。 自分の意見を納得してもらうためには，根拠となる事実を効果的に提示する必要があることを「モアイは語る」を基に確認する。 自分の題に沿った情報をインターネットや図書室の本などから集めるよう指示する。	E - 1 目的に応じた構成があることを理解している。 【生徒の様子観察】 環境問題について述べている新聞記事を何種類か紹介するなどして，考えを広げさせる。
まとめ	4 本時の振り返りをし，次時の見通しをもつ。	学習計画表	次時は，収集した情報を基に意見文を書くということを告げる。	

5 - 5 5 / 7時の指導計画

(1) 指導目標

- ・意見文を書くために、伝えたい事柄や課題について情報を整理させる。
- ・「モアイは語る」で学習した文章の構成や論理の展開を自分の意見文に生かすようにさせる。

(2) 展開

過程	学習活動	教材資料	指導上の留意点	評価規準と【評価方法】 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 本時の目標を確認する。	学習計画表	学習計画表を見て、授業の流れと本時の目標を確認させる。	
意見文を書こう				
展開	2 意見文を書くために集めた情報を整理する。 3 意見文の構成を考える。 4 文章を下書きする。	ワークシート ワークシート	400 ~ 800 字程度の意見文を想定し、具体的な根拠を2, 3点選び出すよう指示する。 「モアイは語る」のモデル文を参考にして、文章の構成について、再度確認する。 読み手を納得させる文章にするためにも、指示語や接続語などを効果的に使うことを押さえるようにする。	イ - 1 「モアイは語る」の構成を利用して、自分の意見文の構成を考えている。 【ワークシートの記述内容】 集めた情報をどの順番で書くのかをワークシートに整理して、考えるよう指示する。
まとめ	5 本時の振り返りをし、次時の見通しをもつ。	学習計画表	意見文を清書することを告げる。	

5 - 6 6 / 7時の指導計画

(1) 指導目標

- ・自分が書いた意見文を読んで、語句や表記が適切であるかを推敲(すいこう)させる。
- ・自分が書いた意見文を読んで、説得力のある文章になっているかを推敲(すいこう)させる。

(2) 展開

過程	学習内容と学習活動	教材資料	指導上の留意点	評価規準と【評価方法】 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 本時の目標を確認する。	学習計画表	学習計画表を見て、授業の流れを確認させる。 意見文を推敲(すいこう)し、清書しよう	
展開	2 下書きをした文章を相互評価する。 3 友達からのアドバイスを参考にして、自分の下書きを推敲(すいこう)する。 4 意見文を清書する。	ワークシート	相手を納得させる文章になっているかについて気付かせるために、友達同士で相互評価をすることを伝える。 相互評価をする前に、前時までに文章から読み取った論理の展開や文章の構成を再度確認する。	イ - 2 文章の構成や活用の仕方が効果的であるか判断し、評価している。【生徒の様子を観察】 「モアイは語る」で学習したことを想起させ、根拠に当たる部分をしっかり書くことが大切ということを確認する。
まとめ	5 本時の振り返りをし、次時の見通しをもつ。	学習計画表	次時は、グループで意見交流会をすることを告げる。	

5 - 7 7 / 7時の指導計画

(1) 指導目標

・ 意見文を読み合って、お互いに評価し合い、自分自身の振り返りをさせる。

(2) 展開

過程	学習内容と学習活動	教材	指導上の留意点	評価規準と【評価方法】 Cの状況の生徒 への手立て
導入	1 本時の目標を確認する。	学習計画表	学習計画表を見て、授業の流れを確認させる。	
意見文の交流をしよう				
展開	2 グループで意見文の交流をする。 意見文を交換する。 友達の意見文を読む。 友達のワークシートに記入する。 3 ワークシートを基に、もう一度自分の意見文について振り返る。 4 もう一度、説得力のある意見文とはどういうものかについて考える。	ワークシート	グループ内でお互いに意見文を読み合うことを伝える。 友達の意見文を読み、意見文の「よかった点」「アドバイス」「納得度」を友達のワークシートに書き込むように指示する。 友達の意見を読んでみてよかったところなどを参考に自分の意見文に振り返り、加筆修正することを指示する。 教材から読み取ったことを観点として考えさせる。 根拠をしっかりと述べることで分かりやすい文章になることを再度確認するため、これま	イ - 2 友達の意見文の評価を通して、自分の考えを広げている。【意見文への加筆修正】 意見交流会で出た主な発言を想起させる。
まとめ	5 学習全体を振り返る。	学習計画表 アンケート	この学習で身に付いたこと、気づきなどを書かせる。単元の学習を振り返らせ、身に付けた力を活用する場面を想定させる。	ア - 1 単元の学習を振り返り、学んだ力を活用できる場を想定している。【学習計画表、事後のアンケート】